

令和3年度第4回東近江市地域公共交通会議要旨

令和4年3月18日（金）午前10時から午前11時30分

東近江市役所新館3階313、314会議室

○出席者：南川会長、中村副会長、野口委員、福島委員、林氏（洲鎌委員代理）、寺田委員、山口委員、大塚委員、夏原委員、鳶村委員、野村委員、高橋氏（飯田委員代理）、北村氏（飯田委員代理）、梅原氏（磯谷委員代理）、杉山委員、田中氏（山本委員代理）、今若委員、岩橋委員

○事務局：田井中担当部長、藤田次長、山本課長、須田課長補佐、福岡主事

○欠席者：逢委員、河合委員、松尾委員、田中委員、大橋委員、小杉委員

1 開会 【進行：事務局】

2 挨拶 会長

【以降南川会長が議長となり議事を進行】

3 議事

協議事項

(1) 東近江市地域公共交通計画（案）について

事務局から説明。

【意見・質問】

委員 公共交通の人口カバー率はどのように算出しているのか。

事務局 バス停の半径300m圏内に含まれる人口の割合から算出している。

委員 公共交通空白地域に対して、どの公共交通ネットワークで対応するのか。

事務局 ちよこっとバスちよこっとタクシーで空白地域をカバーする形となる。

委員 停留所の設置で対応する形か。

事務局 そのように考えている。要望に対して停留所設置位置の見直しを行っていく。

委員 交通体系イメージにおける将来構想の広域幹線軸は何を想定しているのか。

事務局 過去に新幹線新駅の設置検討をした経緯があり、本計画が10年に及ぶためその可能性も踏まえた上で将来の公共交通体系を示した次第である。

委員 地域公共交通計画でも利便性増進計画に該当する内容があるように認識している。利便性増進計画まで行くと、国からの補助のかさ上げもあるので、コンサルから事例紹介などもしてもらい考えてほしい。

委員 最寄りの停留所の位置を33%の人が知らない、すなわち使おうと思っていない。この人たちへの認知度どうやって上げるか、利用してもらうかが重要。

- ちよこっとバス・ちよこっとタクシーの年間利用者数の目標が13万2800人から17万2000人と約30%程度向上となっているが、認知度は2%の向上を目指しておりギャップがある。認知度を上げずに、どのように利用者を増やすのか。
- 事務局 認知度については指摘通り低い状況になっている。現在も継続しているモビリティマネジメントでは子どもだけでなく保護者も一緒に公共交通について学んでいただく機会を設けており、地道に利用促進策を進めて認知度を改善していきたいと考えている。利用者数は、現況はコロナの影響もあって少ない状況。使いやすい環境を整えていくことが重要と考えており、利用促進策を進め、利用を増やしたい。目標値については再度事務局で精査し検討する。市民の公共交通の必要性に対する認識は高い。目的地の魅力を上げることも重要で、その移動手段として車でなくバスやタクシーを推奨していきたい。免許返納やガソリン価格の高騰などもあり、車でなく公共交通に乗ってみようという促しにより地道に市民の意識を変えていきたい。
- 委員 認知度を上げることが目標にするよう指示する。
- 委員 路線バスの収支率を目標指標にした理由は何か。
- 事務局 ちよこっとバスが利用者数で、路線バスが収支率になっている。ちよこっとバスも収支率ではないか。利用者を増やすという視点が重要なのか。
- 事務局 ちよこっとバスは本市内で運行しており評価指標に用いることができるが、路線バスは市外利用も含まれており評価が出しにくいところがある。加えて、コロナ以前の利用者数に戻していこうという意思の表れである。目標・指標は意見・提言を頂いて見直すことも考えている。
- 委員 公共交通計画の中に補助対応の記載はするのか。
- 事務局 補助を受けて運行することの明記の必要性は認知しており記載する。
- 委員 公共交通計画は大臣の認定が必要で、本省のチェックがあり修正も可能性がある。対応願いたい。この会議の場で計画承認になるのか。
- 事務局 基本的な骨子のところで委員の方にご承認いただき、詳細は事務局に一任していただければ。
- 委員の方は骨子のたまかなところをご承認いただき、修正の都度、委員の方々と触っていただく形をとっていただければと思う。

【採決の結果、全会一致により承認】

(2) 奥永源寺地域自動運転サービスに係る運賃徴収区間の見直しについて
事務局から説明。

【意見・質問】

委員 観光客の利用が 88%で、一周で 1 乗車 150 円、地元の方は往復で 2 乗車 300 円。観光客が降車せずに一周乗る場合でも 300 円にしたいという提案になる。

委員 循環路線としていないので、ドライバー、運営者の認識不足だと思う。これまでの運賃の取り方が間違っていた。

委員 地元の方には 6 回 600 円という回数券を利用させていただいており、こういった提案をしている。観光客のアトラクション的利用は 300 円にしたいという提案となる。

【採決の結果、全会一致により承認】

(3) ちょこっとタクシー停留所の新設について
事務局から説明。

【意見・質問】

特に意見・質問なし。

【採決の結果、全会一致により承認】

(4) ちょこっとバス甲津畑線の車両運用について
事務局から説明。

【意見・質問】

【採決の結果、全会一致により承認】

4 その他全体を通じての質疑応答

委員 バスロケーションシステムについて、規模、概要を教えてほしい。

事務局 現在来年度予算として議会で議論中。

スマートフォンでバスの時刻検索、遅延状況がわかるもの。バスの位置情報がスマートフォンで分かる、到着時間がわかるシステム。ちょこっとバスもルート検索で表示されるようになる。停留所情報も提供できるようになる。現在地から最寄りバス停、そこまでの経路もわかるため、認知度向上の面でもメリットとなる。乗降センサーもつける予定でバスが混んでいる時間に乗りたくないという方にも混雑状況を情報提供できる。また、バス停別利用実績もデータ収集できるため今後の路線設計における検討材料として活かしていきたいと考えている。議会審議中ではあるが、全車両に入れたいと考えている。

5 閉会 挨拶 副会長